


ビジネスコミュニケーション学部 ビジネスコミュニケーション学科
教授 紺渡 弘幸 KONDO Hiroyuki
専門・活動分野 英語教育学、第二言語習得研究
最新の研究内容
テーマ：思考力・判断力・表現力を高める英語指導法

研究/活動紹介

背景

現行の学習指導要領は、従来育成を目指してきた「生きる力」を具体化し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの資質・能力を柱として構成されています。現在はこの三要素のうちの「思考力・判断力・表現力」に焦点を当てた研究を行っています。

目的

基本的に英語のコミュニケーション能力を育成するために提案した指導法(Narrow Learning with a Built-in Core Task、以下NLBCT)を「思考力・判断力・表現力」の観点から再考し、この指導法に組み込まれた意見・考えの表出を求めるタスクを中心に短期大学、高校、中学校の先生方と共同研究を行い、多様な習熟度レベルの英語学習者を対象にした実践を通して、その有効性を検証することと本指導法の改良を目的とした研究を行っています。

成果・効果や展望

NLBCTの有効性の検証にあたっては、学習者のアウトプットした言語(スピーチ・ライティング)を複雑さ(Complexity)、正確さ(Accuracy)、流暢さ(Fluency)から分析し、変化を調べるとともに、併せてパフォーマンス評価、質問紙調査を行いました。その結果、実践間で一部結果に相違点のあるものの、全般的にはNLBCTの有効性が認められました。

一方、NLBCTに関わる課題や改善のポイントも明らかになってきており、多様な習熟度レベルで機能するより効果的な指導法の確立へ向けて、今後のさらなる修正が求められます。

産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- これまで、英語の指導法や授業の改善について、小学校、中学校、高校の多くの先生方と実際の英語授業の観察・検討を通して、研究する機会を持ってきました。2025年度は福井県英語研究大会の助言者として発表校の先生と研究を行いました。2026年度は南越地区の中学校で開催される福井県英語研究大会の助言者として先生方と研究を行います。英語の指導・学習について協力できるかもしれません。

学会・経歴

- 令和3年度～現在
中部地区英語教育学会 顧問
- 平成29～令和2年度
中部地区英語教育学会 会長
- 平成29～令和2年度
全国英語教育学会 理事

<お問い合わせ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp